

有关“一次”和“一趟”动量补语

周 静 賢

(日本大学・院)

現代中国語において、動量補語としての“一次”と“一趟”の文中の位置は場所を表す目的語の前と後ろのどちらにも置くことができる。この二つの位置は文の表現や意味にどのような影響を与えているのか。一部の学者は、“一次”と“一趟”の位置と数量の強調を関係づけている。本稿では、その観点について単文と複文に分けて検討した。結論として一つは、単文における“一次”と“一趟”の位置は数量の強調と関係がなく、場面と頻度に関係がある。もう一つは、並列複文において、数量補語と目的語が対応される場合、“一次”と“一趟”の位置は数量と関係があり、主従複文においては、数量を強調するものではなく、複文の文構造と関係がある。